

健康科学研究科〔修士課程〕

1. アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

健康科学研究科（修士課程）

「食」と「リハビリテーション」についての基礎的な知識を十分に持っていること、そしてそれらを総合的な見地から捉えて研究を推進していこうとする意欲が必要です。文献を読んで現在のその分野における学問体系を把握していく事ができる基礎的な語学力があり、そして地道に研究手法の修得に取り組むことができること、さらに真摯にデータを積み上げていき、発表しディスカッションしていくことができる人材を求めています。

2. 課程名・出願資格・募集定員

課程名	健康科学研究科(健康栄養学専攻) 修士課程
出願資格	下記のいずれかに該当する者で、本研究科が受験を認める者 ①大学を卒業又は令和7年3月卒業見込みの者 ②外国において、原則として学校教育における16年の課程を修了した者 ③文部科学大臣の指定した者 ④上記以外の者で、本学が出願を認めた者
募集定員	4名（男女共学）

※ ④ 出願期間前に個別資格審査を行いますので、「12. 出願資格の個別審査について」を参照してください。
不明な点がある場合は教務課入試係に問い合わせてください。

※ 大学院社会人入学要項……29ページ～

3. 入試日程・試験会場・選抜方法等

	第 1 回	第 2 回
出願期間	令和6年9月24日(火)～令和6年9月28日(土)	令和7年1月8日(水)～令和7年1月18日(土)
試験日	令和6年10月5日(土)	令和7年2月1日(土)
合格発表	令和6年10月18日(金)	令和7年2月19日(水)
入学手続完了日	令和6年11月2日(土)	令和7年2月28日(金)
試験会場	九州栄養福祉大学:小倉北区キャンパス(北九州市小倉北区下到津5-1-1) [受付……9:00より]	
試験科目	英 語 (辞書持ち込み可。但し電子辞書は不可)	9:30～10:30
	専 門 科 目 (筆記試験)	10:50～11:50
	面 接	12:40～
選 抜 方 法	上記試験科目・面接・研究計画概要予定書及び提出書類を総合評価して合否を判定する。	

4. 出願手続

(1) 出願書類

① 入学願書 (入学願書・副票・受験票)

※ 入学願書・副票の2箇所に写真(縦4cm×横3cm)を貼付してください。

② 受験票返送用封筒

住所・氏名を記入し、84円分の切手を貼付してください。お急ぎの場合、速達料金分を加算してください。

③ 最終出身学校の成績証明書・卒業見込証明書(または卒業証明書)

(九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の卒業生(卒業見込者)は不要)

④ 略歴書(大学既卒者のみ提出)

⑤ 研究計画概要予定書

⑥ 入学検定料(30,000円。払込受付証明書を、願書裏面に貼付してください)

※ 氏名の漢字表記について、本学で発行する書類は標準文字(JISコード第1水準・第2水準の字)を用いるため、本来の表記と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※ ①入学願書、④略歴書、⑤研究計画概要予定書は、教務課入試係まで直接お電話にてお申し込みください。無料で送付いたします。

(2) 出願方法

上記の書類を揃え、出願期間内に書留(または持参)により提出してください。持参の場合は、日・祝日を除く月曜日から金曜日までは午前9時より午後5時まで、土曜日は午前9時より正午まで、窓口受付をします。

提出先:「九州栄養福祉大学大学院 教務課入試係」

〒803-8511 福岡県北九州市小倉北区下到津5丁目1-1

5. 受験上の注意

- (1) 試験開始20分前までに指定された試験場へ入場してください。遅刻は、試験開始後20分まで認めます。
- (2) 受験票は必ず携行し机の上に提示してください。
- (3) 試験日の前々日までに受験票が届かなかった場合には、事前に教務課入試係までその旨を連絡してください。
- (4) 受験票を忘れたり、紛失した場合はすみやかに試験監督者もしくは係員に申し出て、指示を受けてください。
- (5) 筆記用具は各自持参してください。下敷き、定規、計算機等の使用は認めません。
- (6) 試験場に入る前に、必ず携帯電話等の電源は切っておいてください。
- (7) 試験場の下見は、試験前日の午後から可能です。但し、校舎内への立ち入りはできません。
- (8) 試験当日は学内への車・バイク・自転車の乗り入れはできません。
- (9) 上履き（スリッパ等）は必要ありません。
- (10) 昼食が必要な場合は持参してください。
- (11) 不正行為者の得点は全て無効とし、退室を命じます。以降の科目受験も認めません。また、スマートフォンなどの電子機器類の扱いやその他保安上の理由から試験監督が出す指示には必ず従ってください。
- (12) 学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、原則として受験できません。
- (13) 日頃から、手洗い・手指消毒、換気、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけてください。
- (14) 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合、かかりつけ医や「受診・相談センター」等に相談するとともに、受付や案内係、試験監督者等に申し出てください。

6. 合否発表

- ① 合否は受験者本人への郵便で通知します。本学での掲示はしていません。
- ② 合否についての電話による問い合わせには応じておりません。

7. 入学手続

合格者が入学手続完了日までに、合格通知に同封する文書に従い、入学手続書類郵送及び入学手続時納入金〔入学金、学費(前期分)〕を納入することにより、入学手続の完了とします。

なお、期間内に入学手続時納入金を納入しない場合は、入学辞退として取り扱います。

8. 入学検定料・入学金・学費

(1) 入学検定料…………… 30,000円

(2) 入 学 金…………… 230,000円

(九州栄養福祉大学・九州リハビリテーション大学校・東筑紫短期大学卒業生は入学金を免除します。)

(3) 学 費

(単位：円)

	入学手続時納付額	後期納付額(10月)	年 額 合 計
合 計	440,000	440,000	880,000
授 業 料	340,000	340,000	680,000
施 設 設 備 資 金	50,000	50,000	100,000
実 験 実 習 料	50,000	50,000	100,000

- * 委託徴収金は入学後納付していただきます。
- * 学費(後期分)は10月20日までに納入してください。
- * 本表は著しい経済変動等があるときは変更することがあります。

9. 奨学金

大学院生の勉学研究を奨励するために全大学院生に対して施設設備資金全額が奨学金として給付(返還義務なし)されます。(年額100,000円を後期に給付)。

10. 学生寮

学生寮については、教務課入試係まで直接お問い合わせ下さい。

11. 寄付金について

* 入学後に1口3万円の寄附金の募集を行なっています。応募は任意です。

12. 出願資格の個別審査について

九州栄養福祉大学大学院では、学校教育法施行規則第155条第1項第8号に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの」(以下、「個別資格審査対象者」という)についての申請方法、入学資格審査基準等を次のとおり定めました。個別審査対象者は、下記の要領に従って申請を行ってください。

(1) 個別審査対象者

大学を卒業していない者(卒業見込者を除く)等の学校教育法に定める入学資格を有しない者で、大学を卒業した者と同等以上の学力があると見込まれる者で入学時において22歳に達する者。

(2) 申請期間・申請方法

別紙「九州栄養福祉大学大学院 入学資格審査申請書」(様式1)に添付書類を添えて、それぞれの入学試験の出願期間の開始2週間前までに本学教務課入試係に提出してください。

(添付書類)

- ① 略歴書(本学所定の「略歴書」を使用してください)
- ② 短期大学・専門学校(専門課程)等で修得した単位を証明する書類(最終出身学校の成績証明書・卒業証明書等)
- ③ 大学での教育と同等と思われる科目に相当する社会での実務経験を証明する書類
- ④ 健康科学研究科を受験するに至った経緯について、これまでの人生における経験と関連づけた志望理由書(様式自由、800字程度)
- ⑤ 研究論文・報告書等

(3) 個別審査結果の通知

各入学試験の出願期間開始日までに個別審査結果通知書により通知します。

※ 出願が認められた場合には、出願書類③④(P.26)は不要です。

(申請にあたっての注意)

添付書類等に不備があった場合は、受付できないことがありますので、書類を提出する前に事前にお問い合わせください。

健康科学研究科〔修士課程〕社会人入学

1. 入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

健康科学研究科（修士課程）

「食」と「リハビリテーション」についての基礎的な知識を十分に持っていること、そしてそれらを総合的な見地から捉えて研究を推進していこうとする意欲が必要です。文献を読んで現在のその分野における学問体系を把握していく事ができる基礎的な語学力があり、そして地道に研究手法の修得に取り組むことができること、さらに真摯にデータを積み上げていき、発表しディスカッションしていくことができる人材を求めています。

2. 課程名・出願資格・募集定員

課程名	健康科学研究科(健康栄養学専攻) 修士課程
出願資格	下記のいずれかに該当する者で、就業経験が2年以上の社会人 ①大学を卒業した者 ②本学が出願を認めた者
募集定員	若干名(男女共学)

※ ② 出願期間前に個別資格審査を行いますので、「11.出願資格の個別審査について」を参照してください。
不明な点がある場合は教務課入試係に問い合わせてください。

3. 入試日程・試験会場・選抜方法等

	第 1 回	第 2 回
出願期間	令和6年9月24日(火)～令和6年9月28日(土)	令和7年1月8日(水)～令和7年1月18日(土)
試験日	令和6年10月5日(土)	令和7年2月1日(土)
合格発表	令和6年10月18日(金)	令和7年2月19日(水)
入学手続完了日	令和6年11月2日(土)	令和7年2月28日(金)
試験会場	九州栄養福祉大学：小倉北区キャンパス(北九州市小倉北区下到尾津5-1-1)〔受付……9：00より〕	
試験科目	小論文(専門分野4問の中から2問を選択して論述する)	9：30～10：30
	面接	11：00～
選抜方法	小論文・面接・研究計画概要予定書及び提出書類を総合評価して可否を判定する。	

4. 出願手続

(1) 出願書類

① 入学願書（入学願書・副票・受験票）

※ 入学願書・副票の2箇所に写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。

② 受験票返送用封筒

住所・氏名を記入し、84円分の切手を貼付してください。お急ぎの場合、速達料金分を加算してください。

③ 最終出身学校の成績証明書・卒業証明書

（九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学の卒業生は不要）

④ 略歴書

⑤ 健康科学研究科を受験するに至った経緯について、これまでの人生における経験と関連づけた志望理由書（様式自由、800字程度）

⑥ 研究計画概要予定書

⑦ 入学検定料（30,000円。払込受付証明書を、願書裏面に貼付してください）

※ 氏名の漢字表記について、本学で発行する書類は標準文字（JISコード第1水準・第2水準の字）を用いるため、本来の表記と異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

※ ①入学願書、④略歴書、⑥研究計画概要予定書は、教務課入試係まで直接お電話にてお申し込みください。無料で送付いたします。

(2) 出願方法

上記の書類を揃え、出願期間内に書留（または持参）により提出してください。持参の場合は、日・祝日を除く月曜日から金曜日までは午前9時より午後5時まで、土曜日は午前9時より正午まで、窓口受付をします。

提出先：「九州栄養福祉大学大学院教務課入試係」

〒803-8511 福岡県北九州市小倉北区下到津5丁目1-1

5. 受験上の注意

(1) 試験開始20分前までに指定された試験場へ入場してください。遅刻は、試験開始後20分まで認めません。

(2) 受験票は必ず携行し机の上に提示してください。

(3) 試験日の前々日までに受験票が届かなかった場合には、事前に教務課入試係までその旨を連絡してください。

(4) 受験票を忘れてたり、紛失した場合はすみやかに試験監督者もしくは、試験本部の係員に申し出て、指示を受けてください。

(5) 筆記用具は各自持参してください。下敷き、定規、計算機等の使用は認めません。

(6) 試験場に入る前に、必ず携帯電話等の電源は切っておいてください。

(7) 試験場の下見は、試験前日の午後から可能です。但し、校舎内への立ち入りはできません。

(8) 試験当日は学内への車・バイク・自転車の乗り入れはできません。

(9) 上履き（スリッパ等）は必要ありません。

(10) 昼食が必要な場合は持参してください。

(11) 不正行為者に対して得点は全て無効とし、退室を命じます。以降の科目受験も認めません。

(12) 学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、原則として受験できません。

(13) 日頃から、手洗い・手指消毒、換気、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など体調管理に心がけてください。

(14) 発熱・咳などの比較的軽い風邪の症状が続く場合、かかりつけ医や「受診・相談センター」等に相談するとともに、受付や案内係、試験監督者等に申し出てください。

6. 合否発表

① 合否は受験者本人への郵便で通知します。本学での掲示はしていません。

② 合否についての電話による問い合わせには応じていません。

7. 入学手続

合格者が入学手続完了日までに、合格通知に同封する文書に従い、入学手続書類の郵送及び入学手続時納入金〔入学金、学費(前期分)〕を納入することにより、入学手続の完了とします。

なお、期間内に入学手続時納入金を納入しない場合は、入学辞退として取り扱います。

8. 入学検定料・入学金・学費

(1) 入学検定料…………… 30,000円

(2) 入 学 金…………… 230,000円

(九州栄養福祉大学・九州リハビリテーション大学校・東筑紫短期大学卒業生は入学金を免除します。)

(3) 学 費

(単位：円)

	入学手続時納付額	後期納付額(10月)	年 額 合 計
合 計	440,000	440,000	880,000
授 業 料	340,000	340,000	680,000
施 設 設 備 資 金	50,000	50,000	100,000
実 験 実 習 料	50,000	50,000	100,000

* 委託徴収金は入学後納付していただきます。

* 学費(後期分)は10月20日までに納入してください。

* 本表は著しい経済変動等があるときは変更することがあります。

9. 奨 学 金

大学院生の勉学研究を奨励するために全大学院生に対して施設設備資金全額が奨学金として給付(返還義務なし)されます(年額100,000円を後期に給付)。

10. 寄付金について

入学後に1口3万円の寄附金の募集を行なっています。応募は任意です。

11. 出願資格の個別審査について

九州栄養福祉大学大学院では、学校教育法施行規則第155条第1項第8号に定める「大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（以下、「個別資格審査対象者」という）についての申請方法、入学資格審査基準等を次のとおり定めました。個別審査対象者は、下記の要領に従って申請を行ってください。

(1) 個別審査対象者

大学を卒業していない者(卒業見込者を除く)等の学校教育法に定める入学資格を有しない者で、大学を卒業した者と同等以上の学力があると見込まれる者。

(2) 申請期間・申請方法

別紙「九州栄養福祉大学大学院入学資格審査申請書」(様式1)に添付書類を添えて、それぞれの入学試験の出願期間の開始2週間前までに本学教務課入試係に提出してください。

(添付書類)

- ① 略歴書(本学所定の「略歴書」を使用してください。)
- ② 短期大学・専門学校(専門課程)等で修得した単位を証明する書類(最終出身学校の成績証明書・卒業証明書等)
- ③ 大学での教育と同等と思われる科目に相当する社会での実務経験を証明する書類
- ④ 健康科学研究科を受験するに至った経緯について、これまでの人生における経験と関連づけた志望理由書(様式自由、800字程度)
- ⑤ 研究論文・報告書等

(3) 個別審査結果の通知

各入学試験の出願期間開始日までに個別審査結果通知書により通知します。

※ 出願が認められた場合には、4. 出願手続(1) 出願書類の④⑤は不要です。

(申請にあたっての注意)

添付書類等に不備があった場合は、受付できないことがありますので、書類を提出する前に事前にお問い合わせください。

12. 教育課程

健康科学研究科〔修士課程〕 教育課程

区分	授業科目	1年		2年	
		前期	後期	前期	後期
必修科目	健康科学特別講義Ⅰ	2			
	健康科学研究法特論Ⅰ	2			
	特別研究Ⅰ	2			
	特別研究Ⅱ			6	
選択科目	健康科学特別講義Ⅱ		2		
	健康科学研究法特論Ⅱ		2		
	栄養生理学特論Ⅰ		2		
	栄養生理学特論Ⅱ			2	
	臨床栄養学特論Ⅰ	2			
	臨床栄養学特論Ⅱ		2		
	食品学特論Ⅰ	2			
	食品学特論Ⅱ		2		
	生化学特論Ⅰ	2			
	生化学特論Ⅱ		2		
	栄養教育特論Ⅰ	2			
	栄養教育特論Ⅱ		2		
	薬理学特論Ⅰ	2			
	薬理学特論Ⅱ		2		
	解剖生理学特論Ⅰ	2			
	解剖生理学特論Ⅱ		2		
	リハビリテーション学特論Ⅰ	2			
	リハビリテーション学特論Ⅱ		2		
	健康運動機能特論Ⅰ	2			
	健康運動機能特論Ⅱ		2		
	神経障害支援特論Ⅰ		2		
	神経障害支援特論Ⅱ			2	
	地域活動支援特論Ⅰ		2		
	地域活動支援特論Ⅱ			2	
	環境健康生活特論Ⅰ		2		
	環境健康生活特論Ⅱ			2	
小児リハビリテーション支援特論Ⅰ	2				
小児リハビリテーション支援特論Ⅱ		2			
精神科リハビリテーション学特論Ⅰ	2				
精神科リハビリテーション学特論Ⅱ		2			
リハビリテーション教育学特論Ⅰ		2			
リハビリテーション教育学特論Ⅱ			2		

※ 参考：令和6年度入学者分

〔修了要件〕 1. 最低取得単位数は30単位とする。
2. 修士論文の審査に合格すること。

注) 特別研究ⅠおよびⅡは研究指導教員が担当する。

大学院の教育研究分野

教育研究分野	教育の内容	研究等の内容
解剖生理学	ヒトの体の成り立ちについて、細胞レベルから組織、個体に至るまで、また発生学的に学ぶ。顕微鏡観察のための試料作成の過程に習熟し、修士論文研究を遂行するに十分な研究技術を自分のものとする。	テーマとした動物の組織学的検索を行う。(例：軟体動物の口腔壁を形成する筋の組織構造) テーマとした動物を個体発生的に検索する。(例：食品添加物がアフリカツメガエルの個体発生に及ぼす影響)
生化学	「生体高分子の中で最も多種多様の役割を持っているタンパク質の構造と機能を理解する。(特に酵素及び免疫や血液凝固などの生体防御に係わるタンパク質)。また、細胞中で生体の持つタンパク質の遺伝情報が細胞中でどのようにして発現されるかを理解し、さらに遺伝子クローニングの基礎を理解する。また、これらの内容の研究論文を講読し理解する。	魚筋肉の肉質軟化に関わる内在性プロテアーゼの構造と機能の解析、およびこれらのプロテアーゼを利用した加工食品への応用
薬理学	医療現場での栄養管理や指導及びリハビリテーションでのチームアプローチを推進する上で医薬品や薬物療法の基本的な理解は重要である。本講義において薬物の体内動態や薬理作用を解説し、主な疾病に対する薬物療法について概説する。	日常的に摂取する食品や食物が、疾病時に服用している医薬品の体内動態や薬理作用に影響を及ぼしているのか薬理的（薬物代謝、行動薬理、生化学的などの精査・検討を含む）に研究する。
臨床栄養学 栄養教育論	栄養摂取状況と疾患は密接に関連しており、適切な栄養療法は疾病治療に大きく貢献する。そのためにはライフステージを踏まえた患者背景を知り、実際の疾患について熟知しておくことが重要である。臨床現場での症例をもとに、実践的な栄養教育、および栄養療法について学修する。	臨床現場における実践的栄養療法の試みとその効果についての検討。高齢者のサルコペニアと栄養療法の関連性の検討
食品学	「食と健康」が益々クローズアップされており、食品の様々な機能が明らかになっている。一方、食と疾病との関係も重大視されている。食品成分の生体調節機能の探索と利用及び先端バイオテクノロジー技術を使った食品の加工・開発について教育を行う。	食品タンパク質の構造と機能の解析および鶏卵の機能性ペプチドの疾病予防効果と作用機序の解明
リハビリテーション学分野	現在のリハビリテーション領域は、急性期・回復期・生活期に機能分化されたりハビリテーション医療との取り組み、さらには「障害」に対する3次予防から、「健康づくり」における1次予防への対応が求められている。地域リハケース会議、協力病院からの地域派遣によるリハ専門職の役割機能、地域活動の場で疾患別に合った一人ひとりの身体機能や生活環境などに合ったリハビリのための助言・提案・支援の企画調整方法や、文献・事例演習・討議・論考により、リハビリテーションの学術を深める。	地域の実情に応じた地域包括ケアシステム構築には、地域リハビリテーションを推進するリハ専門職として果たすべき役割、多職種連携による重層的支援の適正化・検証として、 ①地域ケア会議などのフィールドワーク。 ②対象者個別の病気・障害・健康の3つの側面から、効果的・効率的なりハプログラム提供とチームワーク構築。 ③対象者が「その人らしい生活」が可能となる支援としてのリハビリテーションマインドの探求。 ④院生による文献抄読とプレゼン資料からリハビリテーション学術研究の意見交流・課題整理・検証する。

健康運動機能分野	年齢層に応じた適切な運動内容とその効果について、先行研究や論文を参考に議論する。超高齢社会においては、受講者が取り組む研究内容（健康寿命の延伸、ADL能力の維持、QOLの充実など）と結び付けながら、運動機能の側面から効果的なアプローチ方法について教員と共に検討する。	高齢者および障がいのある方の生活機能に関する研究、作業関連骨関節疾患など就労に関連した研究のように、運動機能の客観的な分析のもとに、「充実した生活」を提供するために必要な効果的な支援の在り方を考案するための研究を実施する。
神経障害・内部疾患支援分野	生活環境や食習慣の変化により呼吸器疾患や循環器疾患など自律神経障害を伴う内部疾患患者は増加している。呼吸機能・心機能低下を中心として、機能低下を引き起こす問題を多方面から分析し、問題への介入方法や予防法などを臨床や地域において実行できる能力を修得する。中枢神経疾患においては運動障害や高次脳機能障害を伴うことが多いため、これらの障害のメカニズムを分析する。	内部疾患・神経疾患の一次予防～三次予防における理学療法支援方法と効果検証の実施を主軸として、各疾患に伴う自律神経活動の分析も行う。内部疾患と栄養・運動機能の関連性についても議論・検討を行う。中枢神経疾患においては運動機能障害だけでなく高次脳機能障害においてもより効果的な介入方法を検討する。
地域活動支援分野	保健医療福祉の専門職である理学療法士、作業療法士、管理栄養士が「病院完結型から地域完結型の医療」と「競争から協調」への転換に対応できるように、地域ケア会議、地域困難事例、判例、院生の事例、北九州市長寿プラン、文献検索等の演習により、多職種多機関連携の取り組み課題を討議・論考することでチームワークから課題解決のためのチームビルディングを修得する。	地域の多職種チームワークで対象者の共通理解・連携のための要因分析①②③から、 ①専門的視座-医療と全体論的視座-生活 ②生活歴・療養歴からの生活史的理解 ③個別理解から家族全体で捉える視点 各専門職（PT・OT・管理栄養士）の特性を生かした地域活動で求められる臨床研究を検討する。
環境健康生活分野	高齢者が住み慣れた場所でQOLの質の高い生活を維持することは、社会全体にとっても重要な課題である。私的生活空間である住居やコミュニティにおける「高齢者の自立した生活」を支えるために、高齢者の一般的な特性に加えて個々人の個別的要因が深く関与する。これを踏まえた住環境整備および福祉機器の活用について考える。	①加齢による心身機能の低下が生活機能に及ぼす影響を解析し、住環境整備の方法を考える。 ②コミュニティの高齢化が生活支援に及ぼす影響を検討する。
小児リハビリテーション支援分野	①社会モデルの中で活用できる関連法規に触れながら、個別支援や家族支援、関連職種との連携など地域包括支援について理解を深める。 ②主に神経系疾患に伴う姿勢や運動の障害を持つ小児に対して介入の効果判定に必要な研究デザインを修得するため文献研究を中心に理解を深める。	①発達障害を持つ子どもとその家族の抱える課題の抽出、分析技法、効果判定に関する研究デザインについて検討・討議する。 ②主に神経系疾患に伴う姿勢や運動の障害を持つ小児に対して生理学的・計測学的評価を用いて介入の効果判定を探索する。また健康関連QOL評価を用いた家族や介助者の健康状態を探索する。
精神科リハビリテーション分野	制度横断的な知識や看護等との協働による入退院医療への推進役を担い、地域移行支援体制（GH、DNC、訪問看護、就労・相談支援、地域ケア会議、救急病棟から療養病棟、外来OT等）で意見交流ができるための作業療法事例演習から、ICF・クライシスプランの作成や作業療法の効果検証（質量評価）の方法を討議・論考・修得する。	精神科作業療法の研究データ集積の検討： ①量的評価（結果思考） ②質的評価（プロセス思考） ①②を並列して継続的/横断的に示すことで患者・関係者に療法効果の責任がもてるための作業療法の効果検証を検討する。 の在り方を考案するための研究を実施する。

リハビリテーション教育分野	大学院生は、今後、PT・OTの養成段階で学生を指導したり勤務する病院で若年層のPT・OTや実習生を指導したりすることが予想される。そのような院生に対して教育学への関心を高め、リハビリテーションに関わる仕事を教育学から俯瞰することができるよう教育について「学問する」「研究する」という体験ができるようにする。	①教育は何をなすべきか「教育の中の能力観の問題」「職業を手に入れるための教育という考え方」「市民を育成するという公教育の役割」について考える。 ②先の見えない変化の大きな時代を生きる子供たちに教育はどのような能力を育成していけばいいのか OECD のプロジェクトの取組みなどから検証する。
---------------	---	---

「臨床栄養師認定講座」について（※管理栄養士有資格者対象）

臨床栄養師の定義

臨床栄養師とは、人間栄養学に基づいた臨床栄養の知識、技術およびマネジメント能力を習得し、栄養ケア・マネジメントの質の向上に努めることのできる能力を有している管理栄養士である。なお、臨床栄養師資格取得者は、病院における栄養サポートチーム加算の専従配置になることができる。

臨床栄養師研修

米国の登録栄養士の教育制度を手本にした管理栄養士のための唯一のインターン研修制度である。100時間の認定講座と900時間の臨床研修（一般病院、医療療養病床・回復期リハビリテーション・介護保険施設）、地域栄養活動（外来栄養指導・訪問栄養食事指導、介護予防のための栄養改善サービス等、居宅患者等への栄養管理・相談、給食経営管理）から構成されている。臨床研修（NSTを含める）の一部は症例検討等で置き換えることができる。修了者は認定試験、論文試験合格後、臨床栄養師の資格が授与されるとともに、栄養サポートチーム加算の要件を満たす。

臨床栄養師承認科目（一般社団法人 日本健康・栄養システム学会）

科目名	履修相当時間数	認定講座相当科目
臨床栄養学特論 I	4	栄養アセスメント・栄養ケア計画
薬理学特論 I	6	経腸・静脈栄養法
栄養教育特論 I	4	栄養教育（生活習慣病）
栄養教育特論 I	6	栄養教育（低栄養状態）
栄養教育特論 I	2	栄養教育（栄養教育の基本）
栄養教育特論 I	2	地域栄養活動
地域活動支援特論 I	8	経営の基礎

試験会場案内

試験会場案内図

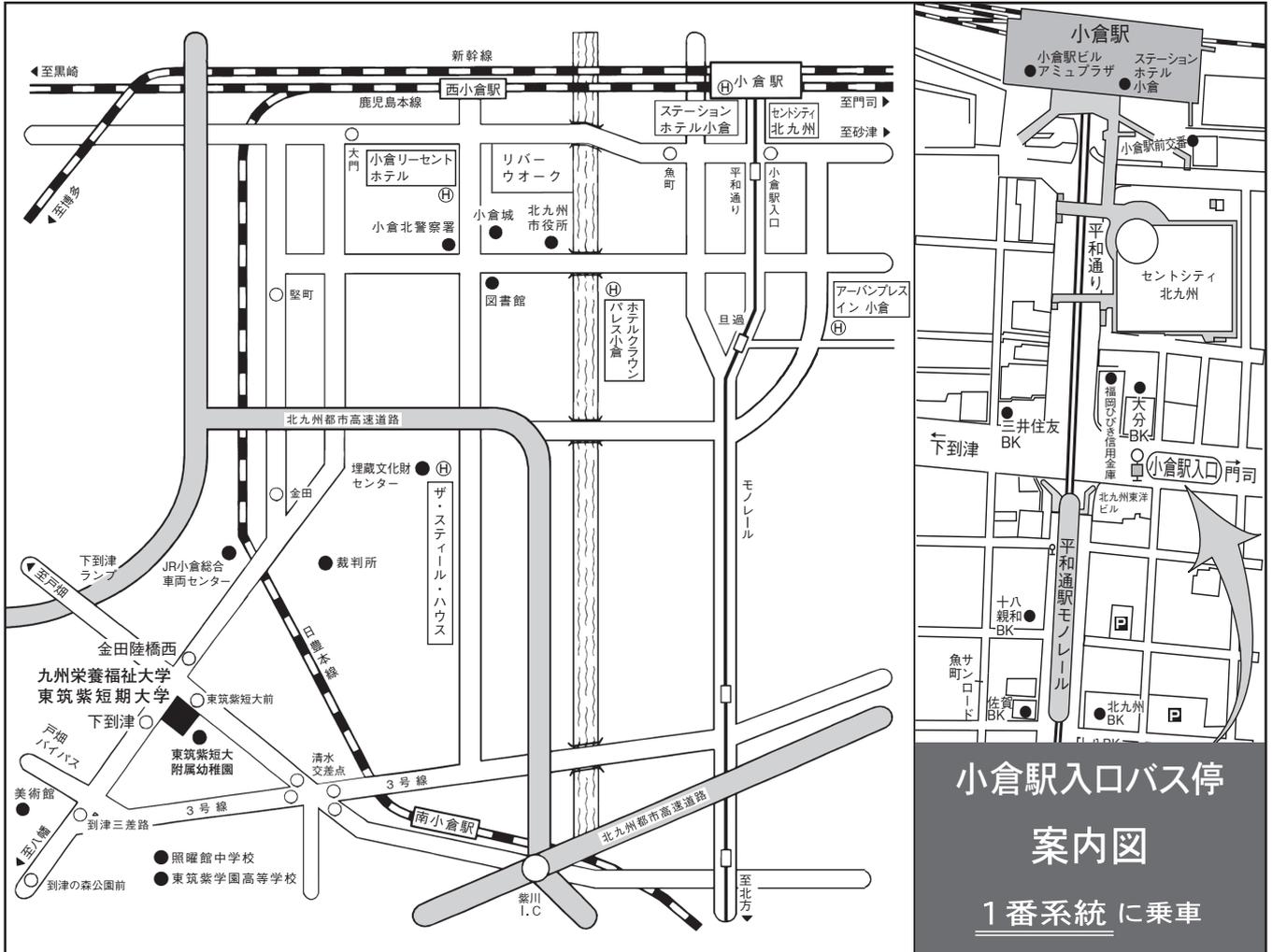
① 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

本学会場（北九州）

北九州市小倉北区下到津5丁目1-1

〔小倉北区キャンパス〕

☎ 093-561-2060(教務課)、093-561-2136(代表)



- JR九州・小倉駅から
鹿兒島本線小倉駅下車、小倉城口（南口）を出て、西鉄バス「小倉駅入口」から1番系統乗車、
「金田陸橋西」下車、徒歩2分（所要時間約15分）
※ タクシーを利用する場合、所要時間約15分（料金1,300円前後）
- JR九州・南小倉駅
日豊本線南小倉駅下車、徒歩約15分
- JR九州・八幡駅から
鹿兒島本線八幡駅下車、西鉄バス「八幡駅入口第一」から1番系統乗車、「下到津」下車、徒歩2分
（所要時間約25分）
- 市内バス利用の場合
路線バス（西鉄）の25番・28番系統のバスに乗車、「東筑紫短大前」下車、徒歩1分
路線バス（西鉄）の1番系統のバスに乗車、「金田陸橋西」下車、徒歩2分
路線バス（西鉄）の1番系統のバスに乗車、「下到津」下車、徒歩2分